

2022年度

国家公務員

# 労働基準監督官採用試験

—大学卒業程度—

## 受 験 案 内

人事院・厚生労働省

### 労働基準監督官は……

労働者の職業生活や生命と健康を守り、人間尊重の基本理念に立脚した法定の労働条件を確保することを任務とし、厚生労働本省又は全国各地の労働局、労働基準監督署に勤務して、労働基準法、労働安全衛生法などに基づいて、工場、事業場などに立ち入り、事業主に法に定める基準を遵守させることにより、労働条件の確保・向上、労働者の安全や健康の確保を図り、不幸にして労働災害にあわれた方に対する労災補償の業務を行います。

また、労働基準法などの法律違反の罪について、刑事訴訟法に規定する特別司法警察職員の職務を行います。

特に最近では、賃金不払残業の防止や過重労働による健康障害防止対策等を推進するといった面での活躍が期待されています。

### ◇受験資格◇

- 1992(平成4)年4月2日～2001(平成13)年4月1日生まれの者
- 2001(平成13)年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
  - (1) 大学(短期大学を除く。以下同じ。)を卒業した者及び2023(令和5)年3月までに大学を卒業する見込みの者
  - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

\* 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
  - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
  - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
  - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- (3) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)

### ◇試験の区分◇

労働基準監督A(法文系)、労働基準監督B(理工系)

### ◇採用予定数◇

労働基準監督A(法文系) 約185名

労働基準監督B(理工系) 約40名

採用予定数は2月1日現在の見込みであり、今後変動する場合があります。変動があった場合には最新の情報を3月下旬に、別途人事院ホームページ(国家公務員試験採用情報NAV I)に掲載する予定ですので、御確認ください。

### ◇試験の日程◇

|             |  |
|-------------|--|
| 受 付 期 間     | <b>申込みは、インターネットにより行ってください。</b>   |
|             | <b>3月18日(金) 9:00 ~ 4月4日(月) [受信有効]</b><br>※ インターネット環境(原則パソコン)及びプリンターが必要になります。<br>◇受付から第1次試験日までの注意事項◇(4ページ参照)をよく読んでください。 |
| 第1次試験日      | <b>6月5日(日) 9:00(受付開始) 9:30(試験開始) ~ 18:05(試験終了)</b>   |
| 第1次試験合格者発表日 | <b>6月28日(火) 9:00</b>   |
| 第2次試験日      | <b>7月12日(火) ~ 7月14日(木)</b><br>第1次試験合格通知書で指定する日時(日時の変更は、原則として認められません。)  |
| 最終合格者発表日    | <b>8月16日(火) 9:00</b>   |

## ◇試験種目・試験の方法◇

| 試験           | 試験種目               | 解答題数<br>解答時間  | 配点<br>比率      | 内 容  |  |
|--------------|--------------------|---------------|---------------|--|--|
|              |                    |               |               | 労働基準監督 A   | 労働基準監督 B   |
| 第 1 次<br>試 験 | 基礎能力試験<br>(多肢選択式)  | 40題<br>2時間20分 | $\frac{2}{7}$ | 公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験<br>出題数は40題<br>知能分野 27題 (文章理解⑪、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③)<br>知識分野 13題 (自然・人文・社会⑬(時事を含む。))              |  |
|              | 専 門 試 験<br>(多肢選択式) | 40題<br>2時間20分 | $\frac{3}{7}$ | 48題出題、40題解答<br>必須 12題<br>労働法⑦、労働事情(就業構造、<br>労働需給、労働時間・賃金、労使<br>関係)⑤<br>選択 次の36題から28題選択<br>憲法、行政法、民法、刑法⑯、経済<br>学、労働経済・社会保障、社会学⑳ | 46題出題、40題解答<br>必須 8題<br>労働事情(就業構造、労働需給、<br>労働時間・賃金、労使関係、労働<br>安全衛生)⑧<br>選択 次の38題から32題選択<br>工学に関する基礎(工学系に共通な<br>基礎としての数学、物理、化学)㉘              |
|              | 専 門 試 験<br>(記述式)   | 2題<br>2時間     | $\frac{2}{7}$ | 2題出題、2題解答<br>労働法①、労働事情(就業構造、労働<br>需給、労働時間・賃金、労使関係)①  | 4～6題出題、2題解答<br>必須 工業事情 1題<br>選択 工学に関する専門基礎(機械系、電<br>気系、土木系、建築系、衛生・環境<br>系、応用化学系、応用数学系、応用<br>物理系等の工学系の専門工学に関<br>する専門基礎分野)から3～5題出題<br>し、うち1題選択 |
| 第 2 次<br>試 験 | 人 物 試 験            |               | *             | 人柄、对人的能力などについての個別面接  |  |
|              | 身 体 検 査            |               | *             | 主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む。)、血圧、尿、その他一般内科系検査  |  |

- (注) 1 ○内の数字は出題予定数であり、「憲法、行政法、民法、刑法⑯」とは、憲法、行政法、民法及び刑法の出題分野から16題出題する予定であることを示し、「経済学、労働経済・社会保障、社会学⑳」とは、経済学、労働経済・社会保障及び社会学の出題分野から20題出題する予定であることを示します。
- 2 第1次試験合格者は、「基礎能力試験(多肢選択式)」と「専門試験(多肢選択式)」の成績を総合して決定します。「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に当たり、他の試験種目の成績と総合します。
- 3 第2次試験の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
- 4 「配点比率」欄に\*が表示されている試験種目は、可否の判定のみを行います。
- 5 一般内科系検査では、呼吸器、循環器などの検査項目について、視診・問診・聴打診を行います。
- 6 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報N A V I を御覧ください。

## ◇試 験 地◇

| 第 1 次試験地 |     |      |     |       | 第 2 次試験地 |      |       |
|----------|-----|------|-----|-------|----------|------|-------|
| 札幌市      | 盛岡市 | 仙台市  | 秋田市 | さいたま市 | 札幌市      | 仙台市  | さいたま市 |
| 東京都      | 新潟市 | 名古屋市 | 金沢市 | 京都市   | 東京都      | 名古屋市 | 大阪市   |
| 大阪市      | 松江市 | 広島市  | 高松市 | 松山市   | 広島市      | 高松市  | 福岡市   |
| 福岡市      | 熊本市 | 鹿児島市 | 那覇市 |       | 熊本市      | 那覇市  |       |

- (注) 1 第1次試験地及び第2次試験地については、それぞれ受験に便利な1都市を選んでください。
- 2 試験場は、原則として上記都市内に設けますが、申込者数等の状況に応じて、上記都市周辺に設ける場合もあります。
- 3 受験申込完了後における「試験地」の変更は認められません(4ページ参照)。

## ◇第 1 次試験日の冷房等について◇

室温は28度を目安としています。着席位置によっては室温に差が生じる場合もありますので、室温の高低に対応できるような服装には注意してください。

## ◇受験上の配慮について◇

- 1 視覚障害（読字障害）の程度により、拡大文字による試験、解答時間の延長等の措置が講じられる場合があります。拡大文字による試験又は解答時間の延長による受験を希望する場合は、申込画面の該当項目に希望する措置の内容を入力するとともに、4月5日（火）10時までに必ず第1次試験地に対応する労働局（7ページ参照）に申し出て、その指示に従い障害の程度を証明する書類を提出してください。  
なお、4月5日（火）10時以降にこれらの措置を希望されても認められませんので御注意ください。
- 2 身体の障害等があるため、着席位置の指定、車椅子の使用等、受験の際に何らかの措置を希望する場合及び補聴器を使用したい場合は、あらかじめ申し出てください（事前の届出及び許可が必要です）。  
申込時にあらかじめその旨を第1次試験地に対応する労働局（7ページ参照）に必ず申し出るとともに、申込画面の該当項目に希望する措置の内容など（補聴器使用の場合は、補聴器使用の旨及びメーカー名、型番など）を入力してください。  
申出の内容や程度を確認の上、対応します。場合によっては、障害の程度を証明する書類を提出いただくことがあります。  
なお、内容によっては、試験の実施上、配慮できない場合もあります。

## ◇多肢選択式試験の正答番号の公表について◇

第1次試験の「基礎能力試験（多肢選択式）」及び「専門試験（多肢選択式）」の正答番号については、人事院ホームページ（国家公務員試験採用情報NAV I）の「試験情報」に、6月6日（月）11時から6月13日（月）17時まで掲載します。  
掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなる場合がありますので、時間をおいてアクセスしてください。なお、電話による正答番号の照会に対する回答は行っておりませんが、インターネットで見ることができないなど「正答番号の公表」に関する問合せ先は、人事院人材局試験専門官室（03-3581-5311 内線2391）です。

## ◇合格者の発表◇

合格者の受験番号は、以下のインターネット合格者発表専用アドレスで確認することができます。  
なお、掲載直後はアクセスが集中し、つながりにくくなるおそれがあるため、以下のアドレスをブックマーク等に登録し、直接アクセスすることを推奨します。  
インターネットによる合格者発表に関する問合せ先は、人事院人材局試験課（03-3581-5311 内線2333）です。

[\[https://www.jinji-shiken.go.jp/goukaku.html\]](https://www.jinji-shiken.go.jp/goukaku.html)

第1次試験合格者発表・・・6月28日（火）9時

最終合格者発表・・・8月16日（火）9時

合格者発表に関する照会は、第1次試験地に対応する問合せ先（7ページ参照）に問い合わせてください。  
「第1次試験合格通知書」及び「最終合格通知書」は、パーソナルレコードパーソナルレコード（「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの下方）にログインし、ダウンロードしてください。第1次試験合格通知書において第2次試験の日時・試験場を指定していますので、ダウンロードできない場合は、7月1日（金）までに第1次試験地に対応する労働局（7ページ参照）に問い合わせてください。

なお、「第1次試験合格通知書」で指定する第2次試験の日時の変更は、原則として認められません。

**人事院及び厚生労働省では、有料で試験の合否の連絡を請け負うことは一切行っていません。**

## ◇個人の試験結果（成績）について◇

個人の試験結果（成績）については、国家公務員試験採用情報NAV Iで確認できます。掲載期間中にパーソナルレコードにログインし、試験結果をダウンロードしてください。掲載期間は、国家公務員試験採用情報NAV Iで御確認ください。

## ◇個人情報の管理について◇

入力された個人情報については、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に従い、人事院及び厚生労働省において適正に管理します。

なお、学歴等の事項は、試験結果の分析、今後の効率的な募集活動等に資するために用いるものであり、試験の結果に影響を与えるものではありません。

◇受付から第1次試験日までの注意事項◇ ◇インターネット申込みの流れ◇（5ページ）と併せて御確認ください。

1 受付期間（インターネット申込み） 3月18日（金）9：00～4月4日（月）[受信有効]

4月4日（月）までに申込データを受信完了したものに限り受け付けます。余裕を持って申込手を完了してください。

お使いのパソコンで申込手が可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めに確認してください。

2 申込方法

[インターネット申込専用アドレス\[https://www.iinii-shiken.go.jp/juken.html\]](https://www.iinii-shiken.go.jp/juken.html)

インターネット申込専用アドレスへアクセスして、説明に従って入力してください。

申込手続は、「事前登録」と「申込み」の2段階になっています（2022年度に行われる他の国家公務員採用試験において、既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合は事前登録は不要です。）。「事前登録」だけでは申込完了にはなりません。「事前登録完了通知メール」及び「申込受付完了通知メール」が送信されますので必ず保存してください。

「事前登録」の際に登録したメールアドレスは、受験票発行通知メールを受信し、受験票を作成するまで変更しないでください。

なお、ユーザーID及びパスワードの照会には応じられませんので、忘れないように必ず控えておいてください。ユーザーID及びパスワードは、パーソナルレコードにログインし、申込内容の確認、受験票、合格通知書のダウンロード及び個人の試験結果（成績）の確認を行う際にも必要になります。

|        |  |
|--------|--|
| ユーザーID |  |
| パスワード  |  |

予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

3 申込みに関する注意事項

(1) 申し込むことができる「試験の区分」、「試験地」は一つに限ります。また、申込完了後における変更は認められません。

ただし、「試験地」については、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲（転居の場合は、4月11日（月）17時までに申し出た場合に限る。）で変更が認められます。

(2) 申込みは1回に限ります。異なるユーザーIDで同じ試験について複数の申込みをした場合、最後の申込み以外は無効とします。

(3) 「試験の区分」、「試験地」以外の申込内容のうち、「氏名（フリガナ含む）」、「生年月日」、「性別」、「電話番号」、「住所」の訂正は、第1次試験の際に受け付けます。申込内容等の訂正を目的として再度申し込むことは絶対にしないでください。

(4) 2001（平成13）年4月2日以降に生まれた者は、受験資格となる学歴について、「学校名」、「学部・学科名」、「課程名」等を正式な名称で省略せずに入力してください。第2次試験の際、卒業（見込）証明書の提出を求めますので、正確に入力してください。

(5) 入力の際の誤りや漏れがある場合には、補正を行うため適宜連絡をします。申込みをした日から4月12日（火）の間（土・日曜日及び祝日は除く。）は必ず連絡が取れるようにしてください。補正できなかった場合には、受験申込みの受理ができないことがあります。また、第1次試験地に対応する労働局（7ページ参照）と連絡が取れるように、電話番号を携帯電話等に登録しておいてください。

4 受験票の作成方法

受験票のダウンロード期間は5月20日（金）13:00～6月2日（木）17:00です（6月2日（木）17時以降はダウンロードできません。）。5月20日（金）13:00～17:00に「受験票発行通知メール」を送信する予定です。

期間中に、パーソナルレコードにユーザーID及びパスワードを入力してログインし、受験票をダウンロードしてください。ダウンロード後、A4サイズのコピー用紙（普通紙）で印刷（カラー、白黒どちらでも可）し、受験票記載の説明に従って受験票を作成してください。受験票がダウンロードできない場合は、インターネット申込みQ&A（「国家公務員採用試験インターネット申込み」ページの上方）を参照してください。

期間中に受験票をダウンロードできなかった場合は、パーソナルレコードにログインして、必要な情報を確認してください。

また、受験票の内容に関する照会は、第1次試験地に対応する労働局（7ページ参照）に6月3日（金）17時までに問い合わせてください。

5 第1次試験に関する注意事項

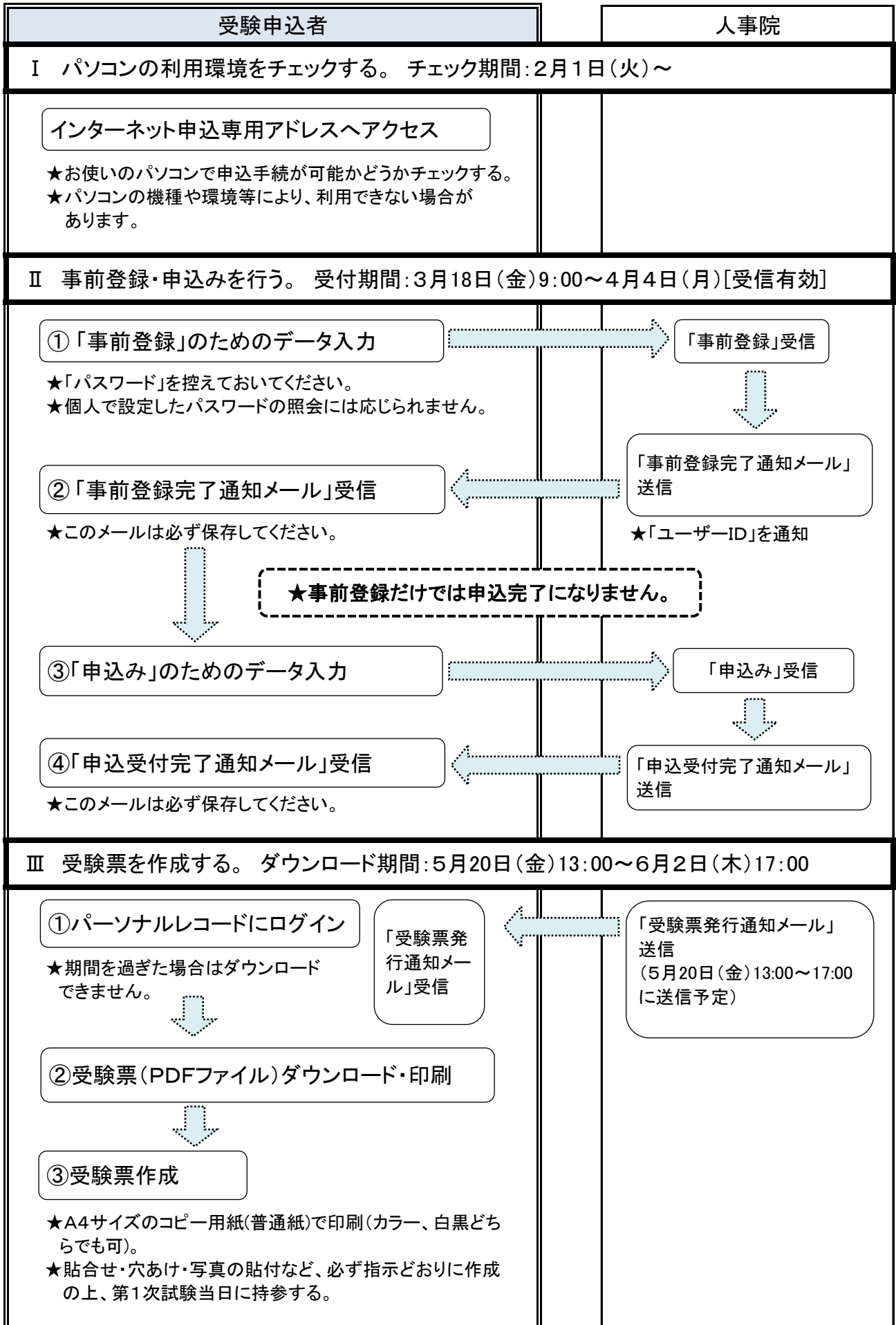
(1) 受験票には、本人であることが明瞭に確認できる写真（6か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm横3cmのもの）を貼り、第1次試験当日に必ず持参してください。

(2) 第1次試験の試験開始時刻（9時30分）に遅れた場合は、受験は認められません。受験票記載の試験場において必ず試験開始時刻までに受付（9時00分開始）を済ませ、指定された席に着席してください。

また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、時間に余裕を持って行動してください。

(3) 試験実施中にスマートフォンなどの携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身に付けていた場合、机の上や机の中に置いていた場合は、不正行為となりますので注意してください。

◇インターネット申込みの流れ◇



## ◇採用・給与・勤務時間等◇

### 1 採用方法及び採用時期

- ① 最終合格者は、試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿（3年間有効）に得点順に記載されます。この名簿に記載された者の中から都道府県労働局において実施する採用面接により採用者を決定し、採用者は原則として採用された都道府県労働局管内の労働基準監督署に配属されます（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）。採用はおおむね2023(令和5)年4月1日以降になります。
- ② 採用後は独立行政法人労働政策研究・研修機構 労働大学校及び配属された各労働基準監督署において、通算1年間の研修等を受け、労働基準法などの施行に関する業務に従事します。なお、その後は、採用された都道府県労働局管内を中心に、随時転勤があります。

### 2 給与

採用当初の額は、220,680円です。

(注) 1 この額は、「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるもので、行政職俸給表（一）1級26号俸が適用され、東京都特別区内に勤務する場合における2022(令和4)年4月1日の給与の例です。地域手当の支給されない地域へ採用された場合には、183,900円です。

2 上記のほか、次のような諸手当が支給されます。

- 扶養手当…扶養親族のある者に支給。子月額10,000円等
- 住居手当…借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高28,000円
- 通勤手当…交通機関を利用している者等に、定期券相当額（1箇月当たり最高55,000円）等
- 期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）…1年間に俸給等の約4.30月分（2021(令和3)年人事院勧告実施後）

### 3 勤務時間・休暇

勤務時間は、原則として、1日7時間45分で、土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。

休暇には、年次休暇（年20日（4月1日採用の場合、採用の年は15日）。残日数は20日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）及び介護休暇等があります。

また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）支援制度として、育児休業制度等があります。

## ◇2021年度の実施結果◇

| 試験の区分 \ 項目 | 申 込 者 数       | 第 1 次 試 験 合 格 者 数 | 最 終 合 格 者 数 |
|------------|---------------|-------------------|-------------|
| 労働基準監督 A   | 2,224 (942)   | 1,050 (406)       | 336 (151)   |
| 労働基準監督 B   | 669 (146)     | 368 (77)          | 160 (39)    |
| 計          | 2,893 (1,088) | 1,418 (483)       | 496 (190)   |

(注) ( ) 内の数字は、女性を内数で示す。

## ◇新型コロナウイルス感染症などへの対応について◇

人事院ホームページ「採用試験の重要情報」又は「国家公務員試験採用情報NAV I」の各試験のお知らせ欄に掲載しますので、必ず御確認ください（情報は随時更新されます。）。

## ◇問合せ先◇

問合せの内容により、人事院人材局試験課、下表の各労働局又は人事院各地方事務局・沖縄事務所に御連絡ください（9:00～17:00（土・日曜日及び祝日等の休日は除く。））。

### 1 インターネット申込み、受験票及び合格通知書ダウンロード方法に関する問合せ

人事院人材局試験課 電話(03)3581-5311(内線2333) FAX(03)3581-2795

なお、インターネット申込用のホームページ（4ページ参照）には、Q&Aがありますので、そちらも参照してください。

### 2 その他試験に関する問合せ

- (1) 転居による試験地の変更
- (2) 視覚障害や身体の障害等による措置の申出
- (3) 受験票の内容
- (4) 合格者発表
- (5) 合格通知書の内容

| 第1次試験地 | 問 合 せ 先 | 電 話 番 号        |
|--------|---------|----------------|
| 札幌市    | 北海道労働局  | (011) 788-6959 |
| 盛岡市    | 岩手労働局   | (019) 604-3001 |
| 仙台市    | 宮城労働局   | (022) 299-8833 |
| 秋田市    | 秋田労働局   | (018) 862-6681 |
| さいたま市  | 埼玉労働局   | (048) 600-6200 |
| 東京都    | 東京労働局   | (03) 3512-1600 |
| 新潟市    | 新潟労働局   | (025) 288-3500 |
| 名古屋市   | 愛知労働局   | (052) 972-0251 |
| 金沢市    | 石川労働局   | (076) 265-4420 |
| 京都市    | 京都労働局   | (075) 241-3211 |
| 大阪市    | 大阪労働局   | (06) 6949-6482 |
| 松江市    | 島根労働局   | (0852) 20-7005 |
| 広島市    | 広島労働局   | (082) 221-9241 |
| 高松市    | 香川労働局   | (087) 811-8915 |
| 松山市    | 愛媛労働局   | (089) 935-5200 |
| 福岡市    | 福岡労働局   | (092) 411-4861 |
| 熊本市    | 熊本労働局   | (096) 211-1701 |
| 鹿児島市   | 鹿児島労働局  | (099) 223-8275 |
| 那覇市    | 沖縄労働局   | (098) 868-4003 |

厚生労働省ホームページ内の「労働基準監督官採用試験」 [<https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kantokukan.html>] で、労働基準監督官の業務紹介や先輩からのメッセージなどの情報を掲載しています。

### 3 合格者発表に関する問合せ

| 問 合 せ 先   | 電 話 番 号          |
|-----------|------------------|
| 人事院北海道事務局 | (011) 241-1248   |
| 人事院東北事務局  | (022) 221-2022   |
| 人事院関東事務局  | (048) 740-2006~8 |
| 人事院中部事務局  | (052) 961-6838   |
| 人事院近畿事務局  | (06) 4796-2191   |
| 人事院中国事務局  | (082) 228-1183   |
| 人事院四国事務局  | (087) 880-7442   |
| 人事院九州事務局  | (092) 431-7733   |
| 人事院沖縄事務所  | (098) 834-8400   |